



第一回 OB・OGセミナー



12月4日(火)に総合科学部に於て第一回OBセミナー「地方紙で働く一取材・編集の現場と新聞業界」が開催された。

この催しは総合科学部のOB・OGである広島大学総合科学部同窓会のご協力によって総科生を対象として開催された初めてのセミナーである。セミナーの冒頭では同窓会副会長の岩永誠学部長・研究科長から「OB・OGの方の話聞くことで、学生は自分がこれからどういう風にキャリアアップをしていくか、そのために何をどのように学ばなければならないかを考えて欲しい。このセミナーが自分の将来設計を考えるきっかけになればと思っている。」と開催趣旨の説明を頂いた。第一回となる今回は、同窓会副会長であり中国新聞社で働く田中伸武さんにご自身の新聞記者としての仕事についてご講話をいただき、『飛翔』の編集員をはじめとする約20名の学生が熱心に耳を傾けた。

田中さんは、「新聞記者になったことで社会の仕組みを知るチャンスに恵まれ、さらに地域と密接したネタで記事を書いたことによって反響が起き社会を動かすことができた。」などといった地方新聞記者のやりがいを語ってくださった。また、情報を得るためには人間関係と普段からの誠意が重要であること、インタビューのためにはプロフィールや相手の書いた本を読むなどの“予習”

が欠かせないことなど、『飛翔』編集のためにも有意義なお話をたくさん伺うことができた。さらに「現在はネット社会になっていて新聞の売り上げも下がっているがWEBは玉石混交な面もある。新聞は良質で記憶に残りやすく一覧性があり、学力アップにもつながる。紙だからこそその良いところもある。」と、デジタルとは異なる新聞の魅力についても語った。

セミナーに参加した学生からは「職業についてリアルな話が聞けた」「OBが主催だからこそそのアットホームな雰囲気よかった」「総科の卒業生の方々は様々な職種についていると思うのでもっと他のOB・OGの方のお話も聞きたい」などといった感想が聞けた。

セミナー後のインタビューにおいて田中さんは「今は国際的な取材とかも増えていて、学生時代にもう少し英語や第二言語をやっておけばよかったなと後悔している面もあるから、みんなにはしっかりやって欲しい。また、学生時代にやったことは、失敗も恥をかいたことも全て、今では新聞記者をやって行く上でプラスになっているから、学生時代は誠意など人間としての基本を忘れないで積極的にいろんなことに挑戦すればいいと思う。」と総科生への熱いメッセージをくださった。

このOB・OGセミナーを通じて、総合科学部を卒業した方々が実際に社会でどのように活躍しているかというリアルな話を伺うことが出来、自分の将来を考える上でとても勉強になった。今後も様々なOB・OGの方の経験やアドバイスを伺えることを期待したい。(市村風花)

岩永さんを励ます会

特集

FEATURE

広島大学総合科学部同窓会による「岩永さんを励ます会」が8月18日（土）広島市内のホテルにて開催された。この催しは、我が総合科学部学部長としてお忙しい毎日を送っておられる岩永 誠先生をぜひとも応援したいということで、学部長の同窓生（第53期入学）をはじめ、総合科学部の先生方が約20名参加した。

開会の挨拶にて同窓会会長の前延さんは

「越智学長になられて以来、広島大学が活気付いているなあと思うことが多くなりました。岩永さんも熱い思いを持って取り組んでおられますが、“それにしてもお忙しそうで大丈夫かな？”と思ひまして。一手に総科の未来を背負っていらっしゃる岩永さんに何としても肩の力を抜いてもらって、みんなで総科を担っていくということを今一度思い出してもらいたいということで、この会を開きました。」と開催趣旨を説明された。

また会長は岩永学部長に

「総科の卒業生5000人を超えまして、今後色々な形で交流していけたらなと考えております。現役生を支えるのは卒業生の役割ですので、OBの力をもっと学部にお返しできるように頑張っていきたいと思ひます。なにより岩永先生、身体に気を付けて頑張ってください。」と同窓会を代表してエールを送られた。



僕はバリバリの理系で物理や数学が好きだったんですけど、どうしても日本史がやりたかった。両方が同時にできるのは総科しかないと思ってやってきて、でも気が付いたら心理学をやっていました。結局やりたいことをゴソゴソやっていって本当にやりたいことが見つかるのが総科だなと思いました。ですので総科生は、試行錯誤しながら失敗を恐れずに頑張っていってほしいと思います。教員はそれを必死になって支えようと思っていますから。

岩永学部長から学生へのメッセージ



また今後について、

先生方の協力がないと、このように運営していくことが出来なかったと思います。色々な立場から色々な意見を頂く、そして決まったことにはピカイチの結束力で協力していただける、そんなアクティブな先生方と一緒にお仕事できることを非常に幸せに思います。あと2年弱の任期となりますが、精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

と抱負を述べられた。

学生の感想

(土田野乃子・長野葵)

参加された総合科学部OBの方々の中には、新聞社や放送局などメディア関係のお仕事や、電力会社に勤めていらっしゃる方もいました。みなさん生き生きとご自分のお仕事について語っておられ、そのお姿がとても印象に残っています。岩永学部長の学生時代のお話も聞かせていただき、自然体で楽しく話されているお姿も見え、学部長も私たちと同じ学生だったんだと少し身近に感じられました。インタビューをしていく中で、みなさんが岩永学部長のことを心から気にかけていらっしゃる事が伝わってきて、学生時代から人望が厚い方だったんだという印象を受けました。

現在大学の予算削減などにより、大変な状況であるというお話も多く耳にしました。しかし、その中で総合科学部に新しい学科が設置され、総科生がさらに充実した大学生活を送れているのは、岩永学部長をはじめ多くの先生方の支えがあってこそだと感じました。